

令和7年度 第9回

3月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日時：令和8年3月23日（月）15:00～15:30

場所：第1診療棟6F特別会議室

出席者： 委員長 加知輝彦

副委員長 伊藤健吾

委員 八谷寛、服部一郎、福田昌子、篠崎恵美子、西川隆久、
松浦俊博、渡辺真俊、瀬瀬伸子

出席委員数/全委員数： 10人/12人

審議事項

申請課題数：新規申請課題 1件

その他審議事項は特になし

申請課題について

No. 1	<p>受付番号：2025</p> <p>課題名：多機能型見守りセンサの習熟過程における職員の身体的・心理的負担度及び行動の調査</p> <p>申請者：加藤 健治</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ol style="list-style-type: none">1. 代諾者の選定方針、代諾者への説明事項、代諾が必要な方を本研究に組み入れる理由を、研究計画書に追記してください。また、アセントを行う場合の説明事項や説明方法も追記してください。2. 研究により得られた結果等の取扱いを、研究計画書に追記してください。3. 本研究において他機関とのデータの授受が発生すると思いますので、研究計画書に、それに関する記録についての記載をしてください。4. 本研究の対象者は、介護職員だけでなく施設を利用する高齢者も対象となるので、それが反映されるような課題名になるように、修正してください。5. 申請書>「6.」の第2段落目の文章など、「対象」という言葉が多数出てき
-------	---

ます。申請書類で、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ガイダンス」に従い、対象の意味を正しく理解した上で、それぞれの定義（意味）が、明確になるように、見直してください。（※規則、指針等で用語が定義されていれば、たとえ日本語として正しくても、相当の理由がない限りその用語を他の意味で使うべきではありません。）

6. 代筆、代諾に関する記載について、申請書>「10.」>「II.」の内容を、研究計画書>「8.」に一致するように修正してください。
7. 研究計画書>「10.」の第2行目にある「研究代表者等」に含まれる者を、具体的に定義してください。
8. 「利用者向け調査票」について、誰が回答するのでしょうか。本人だとすると「2.」>「1-①」で、「忘れたこと自体を認識していない」の選択肢は不適切です。他の質問も同様の選択肢があります。本調査票について、誰が回答するのかを踏まえて、選択肢を再検討してください。
9. 説明書>「2.」に、研究代表者を追記してください。
10. 介護職員用の説明書>「4.」のタイムスタディについて、時間や頻度がわかるようにしてください。また、研究計画書>「4.」>「(6)」の表を追加してください。
11. 同意書は、説明書に合わせて、利用者用と介護職員用の2種類に分けてください。また、「表情解析・・・」、「発話解析・・・」のあとに、それぞれ「はい、いいえ」と、同意するか否かをチェックできるように修正してください。

利益相反審査結果：非該当で承認